

# 請 願 審 査

## 総務常任委員会

請願第2号 地方ローカル線鉄道の維持・発展を通じて地域活性化についての意見書提出を求める請願書

### 審査の経過・結果

地方ローカル線鉄道は、

現在の利用状況が続くと廃線や上下分離方式、またはBRT化になることが予想され将来の自治体運営に支障を来すことが考えられます。このような中、本請願の趣旨は、①鉄道の特性である速達性、定時性の向上を図ること、②地方への人流と物流を促進すること、③地方の活性化につなげるため必要な措置を講じること、を実現されるよう国に対して意見書を提出していただきたいとするものです。本請願の審査のため計3回の意見交換を行ったところ、鉄道は移動手段の確保という意味でもなくては

ならない、災害が発生した際、復旧費が増大する、将来的に自治体だけの負担では維持が困難である等の意見が出されました。このようなか、採決した結果、全会一致で本請願は採択すべきものと決しました。

↓ 起立全員で採択

## 民生常任委員会

請願第3号 「カリキュラム・オーバード」の改善を求める意見書採択に関する請願書

### 審査の経過・結果

本請願の審査では、教職員の長時間労働が深刻化する中、授業時数や学習内容の増加が教育現場や児童生徒に与える影響を重視しました。また、紹介議員や請願者の趣旨説明、教育委員会からの現状説明を受け、教育活動の計画的な運営が困難となっていることや、

教職員が教育以外の業務に多くの時間を割かざるを得ない状況が教育の質の確保に影響している点について、委員会として問題意識を共有しました。一方で、

教職員の負担と児童生徒の学習負担は分けて考えるべきとの意見や、学習時間削減による学力への懸念も確認しました。審査の結果、賛成多数により本請願を採択すべきものと決しました。

↓ 起立多数で採択

## 討 論

至誠の会は、請願第3号に反対を表明します。

学校現場が多くの課題を抱えているとの問題意識は理解しますが、解決策として示された学習指導要領の内容精選や標準授業時数の削減は、当市の教育実態や今議会での一般質問の答弁で示された分析と一致して

いません。

答弁では、学力課題の要因は授業時数ではなく、授業の質や学び方にあるとされ、授業時数を単純に削減した場合、確かな学力の育成に懸念が生じることが示されています。また、授業時数と不登校との明確な相関も確認されていません。一律の削減を国に求める本請願には賛同できません。

請願審査の動画はこちら



## 議員全員協議会

令和7年11月25日(火)、議員全員協議会が開催され、令和8年度から5年

間の市政運営の指針となる「第六次釜石市総合計画(後期基本計画)」の策定について協議が行われました。

本計画は、計画期間の中間年を迎えるにあたり、近年激甚化する自然災害や急速な人口減少、デジタル化の進展といった社会情勢の変化に対応するため、これまでの施策を評価・検証し、限られた財源の中で持続可能なまちづくりを推進することを目的としています。

計画案では、重点的に取り組む施策として、「地域医療の充実」「子育ての支援」「教育の充実」「産業の振興」「防災対策の充実」の5つの優先プロジェクトが設定されています。

議員からは、施策の成果指標として設定されている数値目標の実効性や、目標達成に向けた道筋などについて質問が出されました。